

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902120	事業の開始年月日	平成15年12月1日	
		指定年月日	平成15年12月1日	
法人名	NPO法人福祉ワーカーズコープふれんど			
事業所名	グループホームふれんど			
所在地	(238-0024) 神奈川県横須賀市大矢部3-30-6			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	7名	
		ユニット数	I ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月22日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしく生き生きと毎日を過ごしていただいております。
 職員同士励ましあい、刺激し合い切磋琢磨しています
 自分の子供を入れたいと思えるホームを目指しています

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPRATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成21年12月7日	評価機関 評価決定日	平成22年1月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 ①コープかながわの福祉活動の1つである訪問介護員2級養成講座で資格を取得した有志が現実的な福祉活動の展開を目指してNPO法人福祉ワーカーズふれんどを設立した。コープかながわのある岩戸団地に、初めに訪問介護事業所を設立し、その3年後ここ大矢部にグループホームを立ち上げた。その後、訪問介護事業所には居宅支援事業所を、グループホームには通所介護事業所を併設し今日に至っている。グループホーム開設については古い、大きな民家が長期間空き家で放置されていて、近所の人は無用心と心配していた状態で、グループホームでの活用は歓迎され、従って、近隣関係は友好的な関係が維持されている。岩戸団地の人達は岩戸には生協、学校、養護学校があり、老後にはふれんどがあって安心と云ってくれている。近くに横須賀リサーチパークが、先進技術を持った企業を集めて設立され、その中に水辺公園があり、利用者が遊びに行ける場所となっている。ホームは住宅地の中の落ち着いた環境の中にある。
 ②地域の交流関係については、その1例として自治会の加入が挙げられる。もともとコープの関係で地域とは繋がりは深いのが、自治会の班の回覧板の家の名前の中に「ふれんど」の名前が普通のように並び、完全に班の1員として組み込まれているのはすごい。回覧板は両者と一緒にお散歩を兼ねて次の家へ持っていっている。
 ③ケアの考え方の一端の例として、職員をどんな基準で採用するのかと入居予定者に聞かれた時、オーナーの答えは「笑いの絶えないホーム作りが出来る人」「やさしさを第一に考えられる人」「伸び伸びと才能を発揮し、臨機応変の対応が出来る人」と答えたと言う。これこそがこのホームのケアの方針である。
 ④食事はグループホームの重要な要素と考えている。夕食を作る専門の職員(介護食の資格ある人)を配し、朝、昼の食事も含めたメニューを作ってもらっている。職員は家庭の味を持たんだ食事作りを一緒に行っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームふれんど
ユニット名	

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
	○	2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
	○	3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
	○	2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	シフト時、ミーティング時に確認し合い、実践している。	理念はホームの思いを纏めたものである。その根底は住み慣れたところで、お互いを尊敬して、自分も親も子どももここに入りたいと云える笑いの絶えない、やさしさに溢れたホームである。理念はシフト時、ミーティング時に確認し合い、実践している。オーナーが理念を話すど「又始まった」と云われるほど良く話しに出している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、入居者とともにゴミ集積場の掃除をしたり、回覧板を回したりしている。近所の方が草むしりをしてくださることもある。ホームの庭のビワの実をおすそ分けしている。	町内会に加入し、入居者とともにゴミ集積場の掃除をしたり、回覧板を回したりしている。近所の方が草むしりをしてくださることもある。ホームの庭のビワの実をおすそ分けしている。デイのイベントに参加出来る人は参加して近所の方と触れ合っている。自治会の班の回覧板の家の名前の中に「ふれんど」の名前が普通のように並び、完全に班の1員として組み込まれているのはすごい。職員の大学生の息子さん2人がサンタクロースになって楽しませてくれるのもすごい。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム長が地域の集まりのときに、認知症についてのお話をさせていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームニュースなどの書き方をアドバイスしていただいたり、市のイベントの紹介をしていただいたりしている。町内会での行事に呼んでいただいたりしている	運営推進会議は横須賀方式で実施している。地域会議は近隣5グループホームで、事業所会議は民生委員(2名)、地域代表(1名)、家族代表(1名)にホーム関係者で行っている。グループホームニュースなどの書き方をアドバイスしていただいたり、市のイベントの紹介をしていただいたり、町内会での行事に呼んでいただいたりし、ホーム側からは看取りの話し、重度化の話し、ふれんど10周年の話しに併せて報告を行っている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	わからないことがあれば、お伺いするようにしている。良いアドバイスをうかがうことができるので、とても助かっています。	わからないことがあれば、お伺いするようにしている。良いアドバイスをうかがうことができる。横須賀市は福祉に熱心であり、空室情報ははじめとしてグループホームを支援してくれている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	資料を読んでもらったり、ミーティング時に話したりしている。防犯上玄関の施錠はしているが、希望があればいつでも開けています。普段出入りしているところは常に空いています	身体拘束については、折に触れて研修を行っている。資料を読んでもらったり、ミーティング時に話したりしている。防犯上玄関の施錠はしているが、希望があればいつでも開けている。普段出入りしているところは常に空いています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加している。またその資料を読んでもらっている。職員のメンタルケアに注意し合うことが虐待を生まないことになっていると思うので、よく声を掛け合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2人の入居者に後見人が付いていることもあり、制度について学ぶ機会がある。後見人が来所時には、よくお話を伺っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前にホームのことをよく知っていただくように、お話している。契約後もいつでもホームに来て、入居者の様子など、何でも言っていただく様をお願いしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族が来所時には、必ず伺うようにしている。また、事業所会議の時、家族代表の方からも御意見を伺っている。	ご家族が来所時には、必ず声をかけ、伺ったことは必ずノートに記入し、改善や解決に取り組むようにしている。また、事業所会議の時、家族代表の方から全般的なご意見を伺っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時や個別でもよく話を聞くようにしている。シフトや手当の事など色々話している。内容によりすぐ反映できていることもある	ミーティング時や個別でもよく話を聞くようにしている。シフトや手当の事など色々話している。内容により時間は異なるものの反映するように努めている。職員からも「良く話しを聞いてくれる」とのコメントを頂いた。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各講習会を受講している。給与に関して検討中である。職員の自主性を重んじている。処遇改善の申請をした。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルにあって講習会に参加してもらい、一人ひとりのスキルアップを図っている。入居者、職員に対して的確な声掛けをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上	地域会議や講習会等で管理者が話し合う時間を作っている。敷地内のデイの2階を地域会議に使ってもらい交流の場にしたいと思っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所直後の不安を取り除けるように、夜間などゆっくり話を聞いている。昼間も笑顔で接している。他の入居者と早く溶け込めるように、レクリエーションや会話を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前から話を伺う機会を作るようにしている。入所後は、御様子を報告して安心していただけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族のお話や様子を伺いながら、必要なサービスを考えている。隣接のデイサービスを利用し、身体の調子やメンタルも見せていただいている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、自らの役割と共に家族として、共に生活をしているという気持ちになる時がある。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の来所を、入居者と一緒に喜んでいる。ご家族の思いが手に取るように分かり、時には、涙している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お知り合いの方が来所時には、またお越しくださるよう声をかけているが、再訪は少ない。地域の集まりに参加している方もいる。	お知り合いの方が来所時には、またお越しくださるよう声をかけているが、再訪は少ない。地域の集まりに参加している方もいる。但し、地域の方が多いので、散歩時などで見慣れた地元の景色を見て安心して感じるように感じられる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	合わない利用者同士の間で職員が入り、和やかに会話していただくようにしたりお互いが気にならないように家具の配置を変えたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方の家族から、プレゼントをいただいたり手紙をいただいたりしている。情報の交換はとても楽しく、ありがたいと思っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	小さなつぶやきや、訴えている眼を見落とさないように気を配っている。本人がどうしたいのか、伺いながら、汲み取りながら臨機応変に対応している	小さなつぶやきや、訴えている眼を見落とさないように気を配っている。本人がどうしたいのか、伺いながら、汲み取りながら臨機応変に対応している。オーナーの職員採用の条件が「笑いの絶えないホーム作りが出来る人」「やさしさを第一に考えられる人」「伸び伸びと才能を発揮し、臨機応変の対応が出来る人」であり、聞き取りに努めてくれている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、サービス利用や生活歴などをよく伺うようにしている。入所後に知りえたことは連絡ノートなどに記入し情報を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人日誌などに入居者の御様子を記入している。職員が気付いたことなどを、出し合い、その時に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	している。	入所前のアセスメント、入所後の介護計画作成とモニタリング、アセスメント」の追加、充実、カンファレンスを経た定期の介護計画更新、急変時等による介護計画の見直しなど着実に実施している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	庭に出て日向ぼっこをしながら、隣接のデイサービスの方々とも交流を楽しんでいただいている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアさんがお話相手やレクリエーションでいらしてください。町内会館で開かれるお楽しみ会などにも出かけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時の受診に対応できない家族には、職員が対応している。かかりつけ医になんでも聞けるような体制をとっている。協力医が決まっている。	かかりつけ医の往診を受けている。緊急時の受診に対応できない家族には、職員が対応している。かかりつけ医になんでも聞けるような体制をとっている。ケアマネが元看護師であり、相談できるのも良い。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	昨年看取りがあったが、医師、家族、訪問看護師、職員が、その方の為の何ができるかをよく話し合い介護することができた。	医療連携では衣笠診療所の先生及び訪問看護ステーションと契約し実施している。昨年看取りがあったが、医師、家族、訪問看護師、職員が、その方の為の何ができるかをよく話し合い介護することができた。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング時によく話し合い、ロールプレイングしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。色々な場面を想像し、対応できるように、話し合っている。地域との協力体制づくりが課題となっている。	避難訓練を実施している。色々な場面を想像し、対応できるように、話し合っている。地域との協力体制づくりが課題となっている。通報訓練では消防士役、救護役などを決めて実施している。救命救急研修にも参加している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	馴れ合いにならず、といて、あまり格ばらないような声掛けを心がけるようミーティングで話し合っている。気付いた時には、職員同士注意し合っている。	馴れ合いにならず、といて、あまり四角四面にならないような声掛けを心がけるようミーティングで話し合っている。気付いた時には、職員同士注意し合っている。研修などにも参加して大切さを理解するようにしている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を伝えていただけるような声掛けをすべての職員が心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のしたいこと、みんなでしたいことなどを伺いながら、その日の動きを決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を伺いながら、服を選んでいただいている。時折、マニキュアや口紅をつけていただくと、ホームが華やぎます		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来ることは、すべて手伝っていただくようにしている。下膳は危なくないように見守っている。お茶碗拭き、テーブル拭きもお願いしている。	出来ることは、すべて手伝っていただくようにしている。下膳は危なくないように見守っている。お茶碗拭き、テーブル拭きもお願いしている。食事はグループホームの重要な要素と考えている。夕食を作る専門の職員(介護食の資格ある人)を配し、朝、昼の食事も含めたメニューを作ってもらっている。職員は家庭の味を持込んだ食事作りを一緒に行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を記録している。水分は、食事、おやつ時十分とっていただくように声掛けをしている。夜間ペットボトルを居室に置いておくようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯は毎晩手入れをしていただき、洗浄剤につけておく。毎朝職員が洗い、入れていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員が各入居者の排泄パターンを把握していて、声掛けをしている。	職員が各入居者の排泄パターンを把握していて、声掛けをしている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	本人の排便しやすい環境づくりを心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の時間帯は決めている。入浴日も偏らないように決めてはあるが、本人の希望により対応している。	入浴の時間帯は人のいる時間帯に安全に入って頂くようにしている。入浴日も偏らないように決めてはあるが、本人の希望により対応している。古い建物なので最近、浴室の改修をし、浴室を暖める装置、乾燥する装置の付いたものにしたところ、入居者に喜んでもらった。改修を喜ぶところにも家庭としての生活が見えて楽しい。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間は、ほとんどの方がリビングでお過ごしですが、その日のご様子で声掛けをしている。夜間点灯のままお休みの方は、それで安心して眠ることができるのならと、消灯していません			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	目的や副作用などは、ミーティング時や連絡ノートで確認している。服薬は職員二人で確認し合っている。新しい薬が処方された時には、ご様子をよく観察している。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を干したり畳んだり、自室の掃除を職員と行ってもらっている。時節に合わせたおやつなどをお出しして、楽しんでいただいている。			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日は、お弁当を持ってドライブに行っている。ふれあいフォーラムや、近くの小学校の運動会、地域の餅つき大会に出かけている。地域や家族の協力をお願いしていない。	デイのものを含めて車があるので、お天気の良い日は、お弁当を持ってドライブに行っている。ふれあいフォーラムや、近くの小学校の運動会、地域の餅つき大会に出かけている。近くにはYSP公園、公園墓地、花の国などの施設があり出かけている。		今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望により買い物に出かけている。が、現金は、ホームでお預かりしているので直接使うことはない。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話は自由に使ってもらっている。家族からプレゼントが届いたときなどは、お礼の電話を入れていただいている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全を考慮して人感センサー付きの照明器具に取り換えた。室温、湿度の調整もこまめに行うようにしている。室内は季節を感じられるような飾り付けをしている。	安全を考慮して人感センサー付きの照明器具に取り換えた。室温、湿度の調整もこまめに行うようにしている。室内は季節を感じられるような飾り付けをしている。机の座り方についても相性や特性を配慮して並び方を工夫している。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの居室でゆっくり過ごしていただけるようにしている。リビングのテーブルとは別のスペースにソファを置いてある。2Fホールにもソファを置き使っている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自身で作ったものや、イベント時のプレゼントを飾り楽しんでいただいている。本人の思いを伺うようにしている。	自宅で使っていた馴染みの物を持ち込み、自由に過ごしてもらっている。ご自身で作ったものや、イベント時のプレゼントを飾り楽しんでいただいている。本人の思いを伺うようにしている。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の目線の案内プレートを作っている。自分で必要な物が取れるように置いてある。段差のあるところには、手すりを設けたり。色テープを張ったりして安全を心掛けている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホームふれんど

作成日

10, 2, 19

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	15	新しく入居されたがホームでの暮らしになじめないで不安そうにしている	新しく入居された方が安心して暮らせるようにする	不安な気持ちの言葉やサインを受け止め、安心して暮らせる事を繰り返しお伝えする	2か月
2	21	入居者様の認知症の症状の違いにより、一緒に楽しめるレクリエーション等の実施が課題となっている	レクリエーションの充実	職員間でレクリエーション技術の向上を図る	6か月
3	27	入居者様の[今]の情報の共有	職員一人ひとりが入居者様の「今」を常に正確に把握する	職員間の申し送りを徹底し情報の共有に努める	2か月
4	35	災害時の食糧などの備蓄	災害時に備える	食糧などの置き場所や、種類を検討し、購入し、備える	2か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。